



大分合同新聞社は、地域と人をクローズアップすることで、幸せ(ハッピー)が訪れる(カム)、明るく豊かな大分の未来をデザインします。セカンドシーズンに入ったプロジェクトはミライデザイン宣言「ハピカム」と名称を新たにしました。テーマを設け、次代を担う皆さんと新聞社とで議論を繰り広げます。前回のハピカムより広い視点で考察した内容を紙面とWEBで発信します。

■主催／大分合同新聞社

#### 申込方法

申し込みフォーム(QRコードより)か住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、メール(cdr@oita-press.co.jp)でお送りください。  
6月22日締め切り。いただいた個人情報は、大分合同新聞社で管理し、当日の受付管理のみ使用します。  
【お問い合わせ】大分合同新聞社ハピカム事務局(イベント事業部) TEL:097-538-9646

申し込みはこちらから→



# 参加無料! 一般聴講受付中!

## 第3回

# 「地域で育む、学びの力」

世代間交流を促し、人間関係を構築し、地域愛を醸成する「地域での学び」。学ぶ者にとっては、自ら“問い”を見つけ出し解決する力や他者と協同する力を育み、地域にとっては、コミュニティの維持・活性化のための有効な手段の一つであるはずだ。学びの活動がもたらす地域への波及効果はどのようなものなのか。学ぶ者にとっても地域にとっても、より効果的な“学び”とは。これらを探る。

# 6月24日 日曜日 13:00~

※16:00終了予定(途中休憩を挟みます)。

会場／中津市立小幡記念図書館 中津市片端町1366-1

【第1部】キーノートセッション・地域レポート

【第2部】トークセッション

#### 出演者

アドバイザー  
**上田 英司氏**  
日本NPOセンター  
事務局次長



島根県出身。九州工業大学を中退し、国際ボランティアを行うNPO法人NICEへ入職。NICE事務局長を経て、現在、日本NPOセンター事務局次長。狛江市市民活動支援センター副運営委員長、東京ボランティア・市民活動センター常任委員を兼任。企業とNPOの協働事業やボランティアコーディネーションを専門として、市民参加の推進に取り組む。過去、県内でも複数年にわたって活動。日田市中津江村で森林ボランティアを通じたまちづくり、豊後大野市緒方町で有機農業を通して地元住民、移住者、ボランティアの交流促進などをした。「お世話になった大分県の方々に恩返しできれば」と意気込んでいる。

高見 大介(日本文理大学人間力育成センター長)

佐藤 陽平(ひとねるアカデミー代表理事)

金 成妍(久留島武彦記念館館長)

中村 大悟(耶馬溪アクアパーク インストラクター)

大分県立中津東高等学校マーケティング部

コーディネーター

首藤 誠一 大分合同新聞社編集局報道部編集委員